

慶祝

白謡会・春の会番組 令和元年五月十九日（日）午前九時二十分始 於・横浜能楽堂舞台

連吟

蟻通

シテ 齊藤 千賀子      ワキ 小島 洋子      地 橋本鏡子 他女性会員

梅

シテ 関口 潔      ワキ 青山 圭佑      地 三武 孝 他男性会員

素謡

ツレ 初田 敏美

大典

シテ 北島 大靖      ワキ 龍田 啓子

後列地謡 松嶋聡子、大江修一郎、平戸仁英（地頭）、山口健次、姥澤賢

仕舞

鶴 亀      常深 渡

熊 野クセ      長谷川 次八

西行桜クセ      神崎 克子

江 口キリ      鈴木 紀子

放下僧小歌      佐藤 文孝

狸 々      山口 健次

素謡

弱法師

シテ 森 庸一      ワキ 中山 眞秀

後列地謡 神崎克子、青山圭佑。舍川重隆（地頭）、河野健三、小島洋子

仕舞

竹生島      山本 真理恵

巴      小林 宏三

東 北キリ      大久保 勝子

花 筐クセ      松嶋 總子

藤 戸      齊藤千賀子

玉之段      小島 洋子

連吟

雨月

シテ 山森 和夫    ワキ 西澤 滋幸    ツレ 鈴木 幸子

地謡後列く棟居禮子、森川洋子、越後貫隆（地頭）、天野忠雄、長谷川次八、前列く堤美代子、常深渡、山本真理恵、竹川綾子

素謡

ツレ 齋藤 三紀

熊野

シテ 高井 倫子    ワキ 鈴木 邦子    ワキツレ 鈴木 紀子    (12・45)

後列地謡 石井静江、黒沢裕美、深田晴美（地頭）、尾崎純子、加藤千恵子

仕舞

高砂

森 庸一

昭君

金山 武志

源氏供養クセ

加藤千恵子

雲雀山クセ

中尾 操

水無月被

三野 仁子

野守

龍田 啓子

連吟

草子洗小町

雅謡会（地頭 吉田輝明）

船弁慶

シテ 金山武志    子方 山本真理恵    ワキ 初田敏美    ワキツレ 佐藤文孝

後列地謡く西尾まつ枝、阿部麻子、鈴木邦子（地頭）、加藤千恵子、糸井多倍子 前列く中尾 操、大久保勝子、竹川綾子

独吟

頼政

天野 忠雄

仕舞（番外）

鶴亀

宮下 嗣弘

羽衣キリ

ジュリアミエ    トルコミアウンド

素謡

ツレ 高木 直美

松風

卒寿記念    シテ 高木 了二    ワキ 佐藤 峻輔    (14・05)

後列地謡 青山圭佑、平戸仁英、大江修一郎（地頭）、三武孝、西澤滋幸

櫻川

堤 美代子

大鼓 橋本鏡子 小鼓 大久保直樹 笛 中山真秀  
地謡 中尾操、三木極威子(地頭)、松島總子

素謡

シレ 尾崎 純子

鉢木

シテ 三武 孝 ワキ 舍川 重隆

後列地謡 越後實隆、佐藤峻輔、佐齋 勇(地頭)、平戸仁英、山口健次

山姥立廻入

内田 節子

舞囃子

太鼓 小島倅也 大鼓 阿部麻子 小鼓 黒沢裕美 笛 桜井 實  
地謡 深田晴美、佐齋 勇(地頭) 鈴木邦子

連吟

小督

シテ 石井 静江 ツレ 大久保 勝子

地謡後列 菅原秀子、斉藤千賀子、三野仁子(地頭)、龍田啓子、糸井多倍子、前列 初田敏美、齋藤三紀、関口節子

独舞

班

女舞アト

姥澤 賢

仕舞

春日龍神

橋本 鏡子

車僧

初田 敏美

半菰クセ

森川 洋子

善知鳥

尾崎 純子

鶺鴒之段

糸井多倍子

舞 躰 子

吉野天人

大川 尚美

太鼓 小島倅也 大鼓 三木極威子 小鼓 相良邦子 笛 大久保直樹  
地謡 中島幹恵、室矢正人(地頭)、小竹久美子、北村美恵

(17:00)

素 謡

盛 久

シテ 河野 健三 ワキ 越後貫 隆

ワキツレ 小林 宏三

地頭 天野忠雄、北島大靖、青山圭佑(地頭)、姥澤賢、森庸一

(終演午後五時五十分)

附 祝 言

注①

謡の地謡には、会員及び会員のご友人の参加は可能です。予め紹介者が切戸口の係にお申し出下さい。

注②

昼食は、能楽堂二階の食堂で用意致します。また、楽屋での給茶は省略しますので、ペット

ボトルなど飲み物をご持参下さい。会終了後、野毛の「一の蔵」にて懇親会を催します。

備 考

○素謡省略箇所(番組記載の地謡氏名は正面席に向かって左からの着座順)

大典 〓 省略箇所なし

弱法師 〓 ①クリ、サシ省く ②六丁裏のシテ「あら面白や・・より、十丁表四行まで省き、

シテの「詠がめしは・・へ跳ぶ

熊野 〓 ①九丁裏の上歌「四条五条の：：を省き。ロンギへ跳ぶ ②クセ省く

松風 〓 ①三丁裏の上歌「影。恥ずかしき・・を省き、シテ「面白や・・へ跳ぶ ②クセ省く(袴着用)

鉢木 〓 ①七丁上歌「げにこれも：省き、シテ「いかに・・へ跳ぶ 十八丁表ワキ「いかに誰・・から。二十

丁裏のワキ「やいかに：へ跳ぶ

盛久 〓 四丁表ワキ「あら傷しや・・より省き、六丁裏のシテ「ありがたや・・へ跳ぶ

○連吟の範囲(番組記載の地謡氏名は正面席に向かって左からの着座順)

蟻通 〓 四丁裏のシテ「さて御身は・・より、クセ留まで

梅 〓 四丁裏のワキ「實にこれも・・より中入まで。及び跳んでシテのワカ「鶯の・・より最後まで

雨月 〓 三丁裏のツレ「姥はもとより・・より、六丁裏の地謡・・雨の名残と思わん」まで

草子洗小町 〓 十丁裏の次第以降最後まで

船弁慶 〓 十丁裏、ワキ「何とご逗留と・・」より最後まで

小督 〓 九丁裏のツレ「例へを知らば・・より最後まで